

## 令和3年度 第3回理事会報告

日 時：令和3年6月3日(木)

14:00～17:00

場 所：Web会議

出席者：八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村上、水村、前田、六角（途中退席）、唐木、古賀、山本、古林、小日向、安藤各理事 中畠、古屋各監事 欠席者 山口理事

### 1. 開 会

理事会に先立ち、八木原会長から「現役員での最後の理事会になります。定時総会もリモートになるようです。ご意見もいろいろあるようですが、宜しくお願ひします」と挨拶。会長挨拶の後、事務局長から理事22名、監事2名の出席が確認され、事務局長がオンライン会議のホストを務めて議事に入った。

### 2. 議 題

(1) 議案第1号 議事録の承認について  
令和3(2021)年度第2回理事会議事録の承認について（事前送付済）

異議なく承認された。

(2) 議案第2号 令和2年度事業報告(案)について 事前に配布した資料をかなり加筆修正したため、変更した部分を中心に説明があった。出席者22名、議長を除いて21名のうち、賛成21名で承認された。

(3) 議案第3号 令和2年度決算報告(案)について 資料に基づいて個々の科目の収支額の説明があった。令和2年度の収支決算は、公益目的会計で40,112千円、法人会計で13,611千円、合計53,723千円の黒字になった。公益目的会計の収支相償の原則が崩れるために特定資産準備資金として国際大会開催資金3000

万、財政基盤確保資金3000万円の特定資産を積み立てた。

長期借入金と短期借入金については、6月に短期借入金を完済し、10月に長期借入金を完済した。議案第3号は、賛成21名で承認された。

<監事・業務会計監査報告>古屋監事より監査報告があった。特定の問題点は見つからなかった。監査所見においては、収支決算は黒字になったが、これは、コロナ禍で事業が実施できなかったにも関わらず、協賛金の減額がなかった事に依るものである。2口座の特定資産を積立したが、あくまでもスポーツクライミングの公益事業に紐づいている。取り扱いには十分注意願ひたい。世界選手権2019の赤字により、財政再建諮問委員会が、改めて規律を作った。今後も厳格な財務管理を行ってほしい。スポーツクライミング部門は事業が盛んだが、引き続き予算管理をしっかり行ってほしい、登山部門は「ストップザ1000」、「夏山リーダー」で効果的な活動をお願いしたい。ガバナンスコード、中長期計画を粛々と進めていくことと、見直しも必要と思う。方針を見定めながら、登山界、スポーツクライミング界、社会に対して貢献をお願いしたい。会計上は問題なかった。CASの裁定も今後活かして行ってほしい。IFSC、JOCとの連携も見直しを進めながらコーチ・監督とも協力してほしい。

(4) 議案第4号 「主催・共催・主管・後援に関する規程」の制定について 資料に基づいて提案があった。手続き、運営について質疑応答があった。

議案第4号は、賛成21名で承認された。

(5) 議案第5号 正会員の承認について 以下の正会員の入会が諮られ、何れも異

議なく承認された。(一社)静岡県山岳・スポーツクライミング連盟：木ノ内高嘉(退任・滝田博之)、(一社)岡山県山岳・スポーツクライミング連盟：石原敬士(退任・山崎裕昌)、山形県山岳連盟：大滝潤二(退任・伊藤吉樹)

(6) 議案第6号 令和3年度定時総会の開催方法について 定時総会の開催方法について、コロナ禍の現状と緊急事態宣言発出下を鑑み、オンラインで行いたい、開始は9時30分からにしたい、と諮られた。

議案第6号は、賛成21名で承認された。

(7) 議案第7号 新理事候補者について 先月の理事会で25名の理事候補者を承認して頂いたが、その後、1名辞退されたので、その補充として新たに1名の推薦が諮られた。辞退理事候補者加藤富之 推薦理事候補者羽鎌田直人 質疑応答の後、採決が諮られ、2名棄権、賛成19名で承認された。

(8) 議案第8号 道迷い遭難対策看板設置の看板名称「JMSCA 遭難対策委員会」の使用承認について 理事会としては遭難委員会に一任して看板等の設置をすることを承認すればよい。特に反対意見はなく、全員一致で、承認された。

### 3. 報 告

(1) 報告第1号 令和3年度SC医科学常任委員について 常務理事会で承認された常任委員の報告があった。

(2) 報告第2号 令和2年度山岳共済会事業報告及び収支決算報告について コロナ禍の影響もあり、加入者数が46,446人、前年比6,570人減であった。大幅な加入者減が見込まれたため、初めて補正予算を組んで対応した。会費収入は44,617,000円で前年比5,664千円減であ

った。

<監事・業務会計監査報告> 古屋監事から資料に基づいて報告があった。

会員数が減少し、JMSCA への委託事業が前年比 1,000 万近く減額となった。

これは登山部門資金の減少を意味する。会員の年齢構成のグラフでは高校生と 70 才以上が山を作っている。今後の 10 年間を考えると激減状態が想定される。各岳連の共済会担当者が営業を行い、加入促進を図って貰いたい。個々の会員が勧誘を行うなど、各岳連に協力を呼びかけて貰いたい。

(3) 報告第 3 号 業務執行理事の職務執行報告 各々の業務執行理事が、資料に基づいて報告を行った。

(4) 報告第 4 号 SC 競技規則改定について 常務理事会で承認された SC 競技規則の改定について報告があった。IFSC のルール変更に合わせて改定。

(5) 報告第 5 号 令和 3 年度アスリートパス ウェイについて JSC に公募して前年に続き、対象に決定した。

(6) 報告第 6 号 第 9 回 LYC 南砺大会の報告について 資料に基づいて報告があった。

(7) 報告第 7 号 (一社) 広島県山岳・スポーツライミング連盟後援名義使用申請について 承認した旨の報告があった。

(8) 報告第 8 号 日本代表選手団、東京オリンピック、チームジャパン監督コーチ等推薦について 資料に基づき報告があった。

(9) 報告第 9 号 ワールドカップ出場選手の承認について、資料に基づき報告があった。一部追加があり、常務理事により、承認された。

(10) 報告第 10 号 国体委員会通知 国体委員会においては、各都道府県予選

やブロック大会に対してコロナ対策の報告義務を通知しているが、その記載がないのが見られる。その場合、欠格になる恐れがあり、そのようにならないように指導を行っている。

(10) 報告第 10 号 役員派遣について (6月6日(日)~6月11日(日)) (1) 第一回国体基準会議 6月12日(土)~13日(日) 於:菰野町体育センター周辺特設会場 村岡理事 (2) コンバインドジャパンカップ 6月18日(金)~19日(土) 於:岩手県営運動公園スポーツライミング競技場 八木原会長、平山・丸副会長、村岡理事 (3) 令和3年 JSP0 定時評議員会 6月18日(金) 於:オンライン 尾形専務理事 (4) 令和3年度 JMSCA 定時総会 6月20日(日) 於:オンライン 八木原会長他 (5) 令和3年度スポーツ安全協会評議員会 6月24日(木) 於:オンライン 尾形評議員 (6) 令和3年 JOC 定時評議員会 6月25日(金) 於:JSOS ビル 14F 八木原評議員 (7) 全国遭難対策委員長会議 6月26日(土)9時~12時30分 於:オンライン 町田理事